

第14回 まちづくり検討会を開催！

令和2年 2月16日 10時～12時 東久保町会館

出席者37名 [内訳 市/コンサルタント4名、推進員・会員33人]

★令和元年度事業推進状況の中間報告と次年度計画の概案を説明

1. まちづくりニュースを2回発行。 ⇒ 来年度も同様、2回の発行を予定する。
2. 夢やさいの販売を3回実施。 ⇒ 事業基金確保のため6回に増やしたい。
3. 中区本郷町協議会と見学交流を実施。 ⇒ 当地区と同様な個所を市に依頼し交流する。
4. 新防災まちづくりの検討会を実施。 ⇒ 新防災まちづくりプラン更新認定を申請する。

★各部の事業推進状況と次年度の事業予定案

a. いえ・みち事業部

1. 富士見坂右の階段手摺設置 ⇒ 危険な避難路の整備を継続
2. 空き家助成制度のPR実施 ⇒ 東台会地域の空き家の活用
3. 避難場所入口夜間照明設置 ⇒ 他の2か所への設置を検討
4. 見晴坂中間角縁石後退依頼 ⇒ 居住者調整と市の工事実施

b. 災害対策合同本部

1. 防災備蓄庫・広場の整備拡充 ⇒ 備蓄品の整理整頓と管理
2. 安否確認訓練の実施を定着 ⇒ 年2回実施を目指し継続
3. 防災イベントの企画 ⇒ 町内合同イベントを推進
4. 防災たよりの発行 ⇒ 年3回程度を予定し継続

★新防災まちづくり計画案のアンケート結果報告

横浜市から依頼のNPO内海氏から報告された。(別添資料を参照)



第14回検討会状況

災害対策合同本部が模擬机上訓練を実施！

2月17日19時～ 災害対策合同本部要員が会館にて机上訓練を行いました。

これは災害発生時に本部要員が会館等の避難所に参集して何をすべきか等、西区役所総務課防災担当の古谷係長の指導の元に本部要員13名が参加し、災害図上ゲーム(DIG)や避難所運営ゲーム(HUG)による本番を想定した模擬訓練を行った。

3グループに分かれて話し合い、会館に集合した少ない人数で何が出来るか、必要な物は、準備してないと困るものは、等次々に起こる課題を話し合い、結果を各グループが発表した。今後の活動に向けて参考になるので、以降に取り上げたい。



机上訓練のようす

新・防災まちづくり計画の改正点について

○ 計画の主な改正点

1. 防災まちづくり計画全体構成の変更

現行のまちづくり計画は、『予防』防災編7項目と『事後』防災編5項目で構成されていますが、改正案では「いえ」「みち」「まち」「ぼうさい」にプラスし「実現方策」の5つのテーマに14項目を振り分け、計画を構成しました。

2. 活動実績の反映

これまでの活動実績を踏まえ、ハード装備の目標だけでなくソフト面の活動に関する記述を充実させました。また実績については写真などで計画内に明示する予定です。

3. 未達成課題の精査

10年以上の活動の中で、事業規模の大きさや社会情勢の変化などにより実現が難しく、未達成の課題がありました。それらの内容を精査し、目標の再設定や削除を行いました。

4. 新たな取り組みの追加

目標の実現方策として、「建築・開発時の事前協議」を計画内に位置づけしました。ゴミ置き場の問題といった新たな地域課題についても言及していきます。

○ 会員からの質問や意見など

- ・大雨警報等が出た場合、災害対策合同本部の動きや防災準拠点の開設について
- ・会員からのアンケートの集約結果、意見等の記入がありますので今後まとめて紹介します。



中区本郷町と交流、防災広場の訓練を見学

本郷町3丁目第1・第2町内会の協議会による訓練が、昨年11月30日(土)に実施され、全戸参加の安否確認訓練、スタンドパイプの初期消火訓練、段ボールトイレの設置、ハザードマップの展示に加えて、消防署の起震車体験が初めて行われました。

東久保町からは13名がこの訓練の見学に行き本郷町3丁目の皆さんとの交流を行ないました。

空き家のあったところに市の助成で防災広場を造ったということですが、本郷町は傾斜地が多く立地条件が限られているので、できた防災広場の使い方はいろいろ難しいことだろう、という感想がありました。



『新防災まちづくり計画(案)』についてのアンケート調査 集計結果

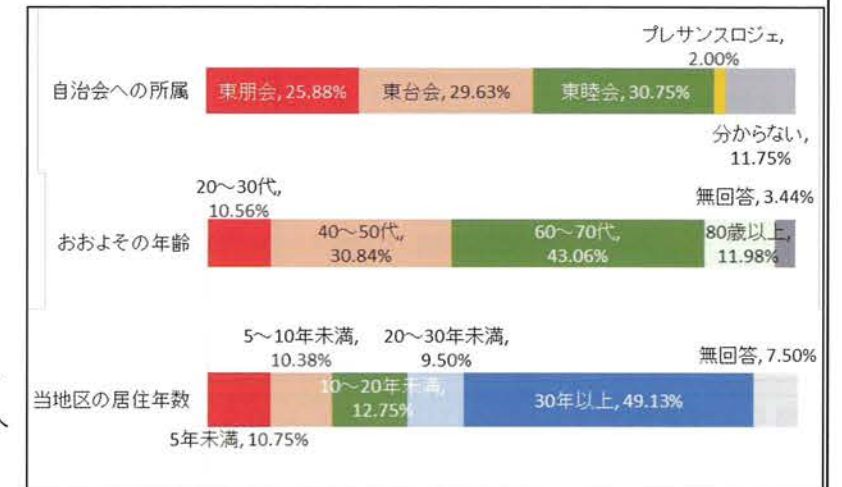
昨年、皆様にご協力いただいた「新防災まちづくり計画(案)」のアンケート調査について、集計結果をまとめました。アンケートは843通の回答をいただきました(母数2,124通、回収率39.69%)。各項目とも、多数の賛成意見をいただくと共に貴重なご意見もいただきました。

自治会で配布 (東朋、東台、東睦)		町内居住宅投函 アパート・マンション		地区外居者住送付 土地建物所有者		全 体	
配布数	回収数	投函数	回収数	郵送数	回収数	依頼数	回収数
1067	748	769	52	288	43	2124	843
回収率	70.10%	回収率	6.76%	回収率	14.93%	回収率	39.69%

お答えいただいた内容を次のようにまとめ、整理いたしました。紙面の都合上、主な意見や結果を抜粋していますので、詳細にお知りになりたい方は、東久保町夢まちづくり協議会までお問い合わせください。頂いたご意見は、今後の活動に活かして参ります。アンケートご回答へのご協力ありがとうございました。

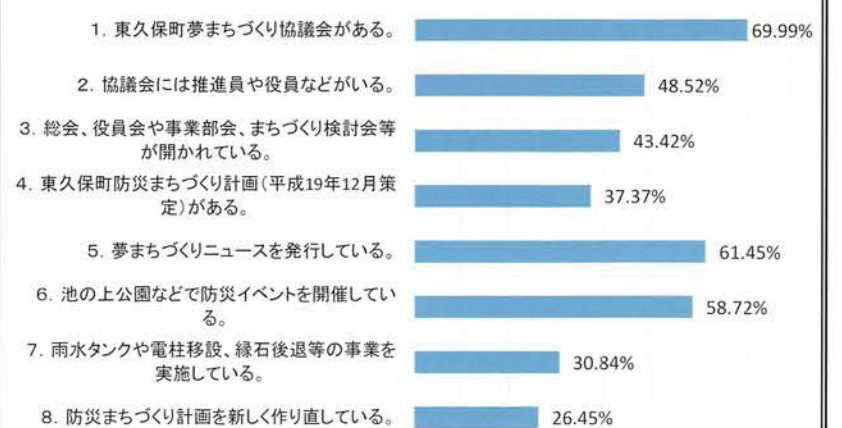
問1 回答者の方について伺います。差しつかえない範囲で、お答えください。

- ・各自治会への所属構成比は、東朋会、東台会、東睦会はそれぞれ25%から30%の間、プレサンスロジエは2%で、全体として自治会に所属している人の回答が多い。
- ・年齢別の回答比率は、40～50代が30%、60～70代が43%であり、全体の7割を占めている。
- ・居住年数は、30年以上と長く住んでいる人が50%弱にのぼり、20年以上住んでいる人を含めると58.6%に達する。



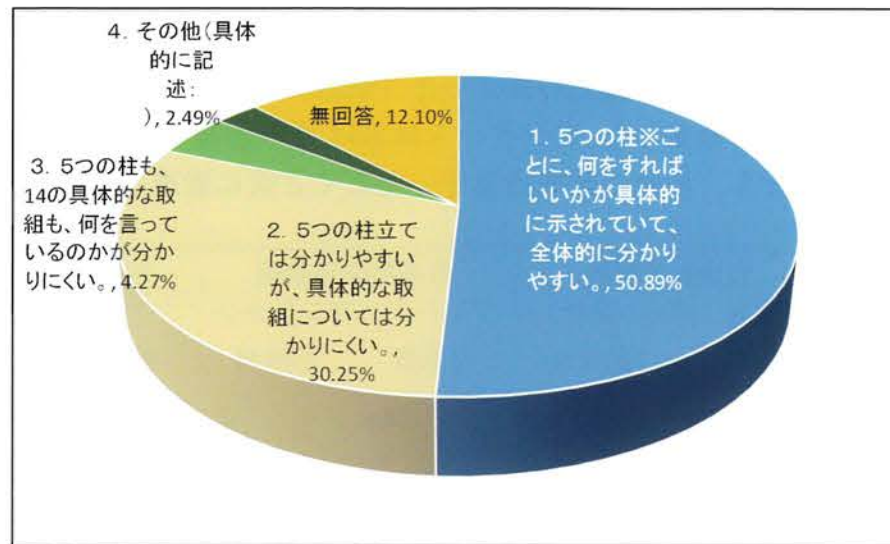
問2 東久保町における防災まちづくりに関するこれまでの取組をご存知ですか。

- ・「まちづくり協議会」の認知度は70%近くにのぼり、次いで60%以上が「まちづくりニュース」を、58%の人が「防災イベント」を知っており、これらの認知度は高いと言える。
- ・「防災まちづくり計画を新しく作り直している」ことは、25%程度の人にしか知られていない。



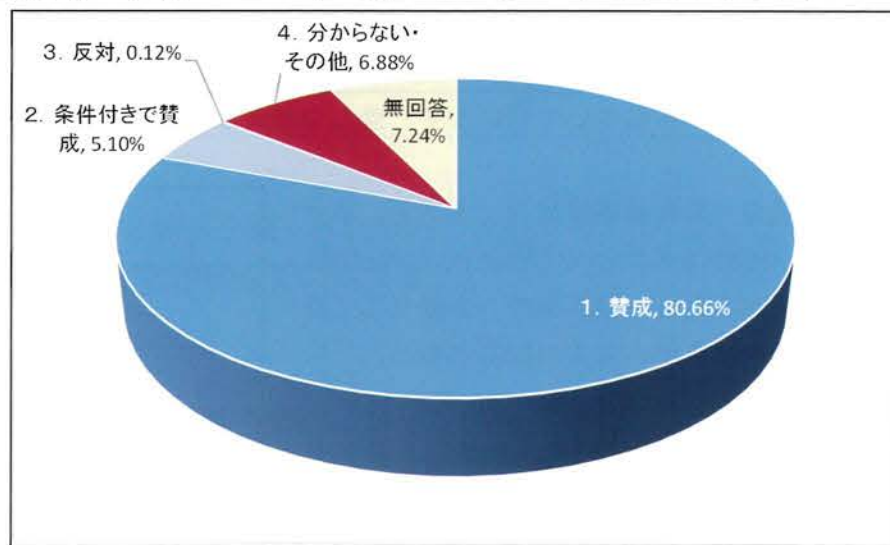
問3 別添の『新防災まちづくり計画（案）』の全体構成は分かりやすいですか。

- ・選択肢1と2を合わせると、80%近くの人が「5つの柱立て」については分かりやすいと回答しており、プラス評価となっている。
- ・「全体的に分かりやすい」と回答した人が50%を超えているが、「具体的な取り組みについては分かりにくい」と回答した人も約30%にのぼる。



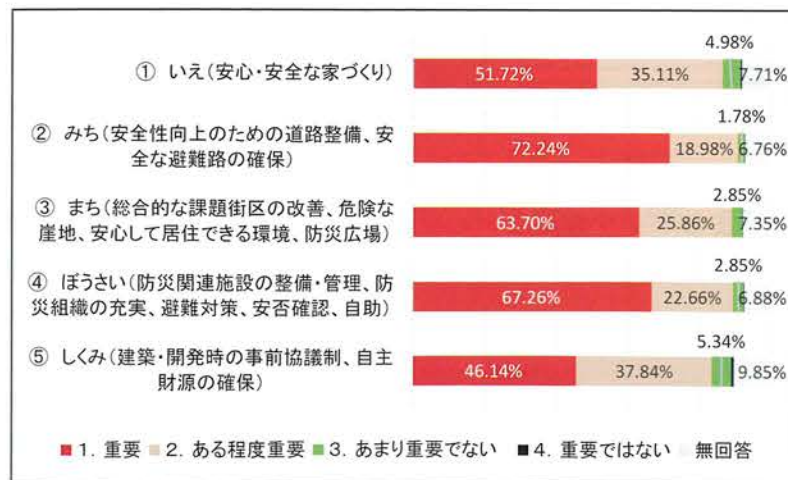
問4 別添の『新防災まちづくり計画（案）』の内容について、全体として見てどう思われますか。

- ・計画案を全体としてどう評価しているかをみると、「賛成」は全体で8割を超え、「条件付きで賛成」を含めると、約86%が賛意を表明している。



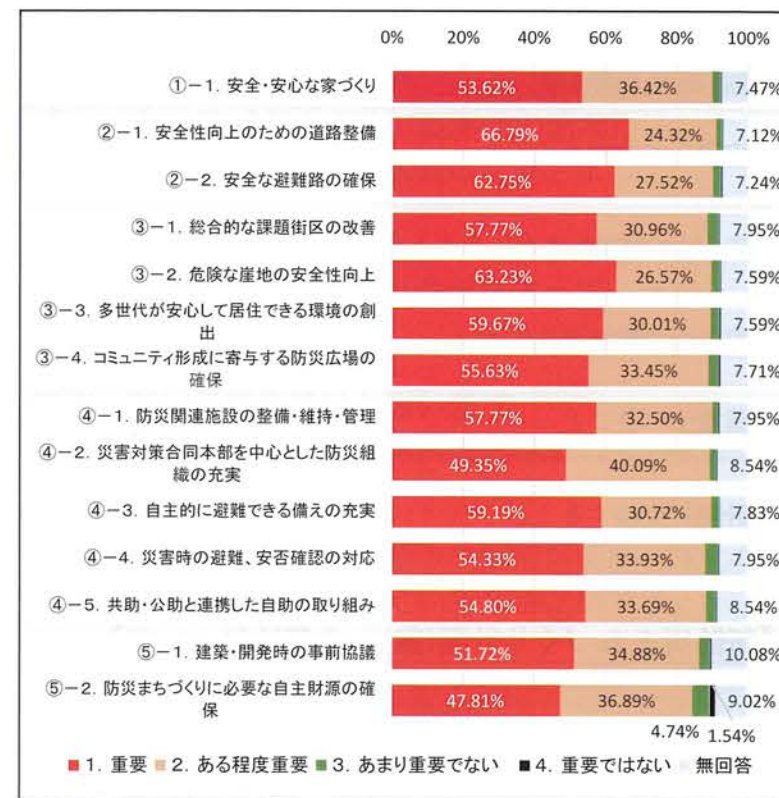
問5 『新防災まちづくり計画（案）』の5つの柱について、重要性の程度はどうお考えですか。

- ・最も「重要」と回答した比率が高かったのは、「みち」の項目で、「みち」に関する施策を行うことが重要と考えている人が多いことが分かる。
- ・次いで、「ぼうさい」が「重要」の回答比率が高いことから、ソフト面の活動を重要と考える傾向があることも分かる。
- ・逆に「しくみ」については、新規に取り組もうとしている内容であり、活動が想像しにくいということもあってか、重要性の評価は小さくなっている。
- ・「重要」と「ある程度重要」を足し合わせると、「みち」「まち」「ぼうさい」では90%前後と高く、重要と認識されていることが分かる。
- ・それに対して、「いえ」と「しくみ」については85%前後と、比較すると低めであるのが特徴である。



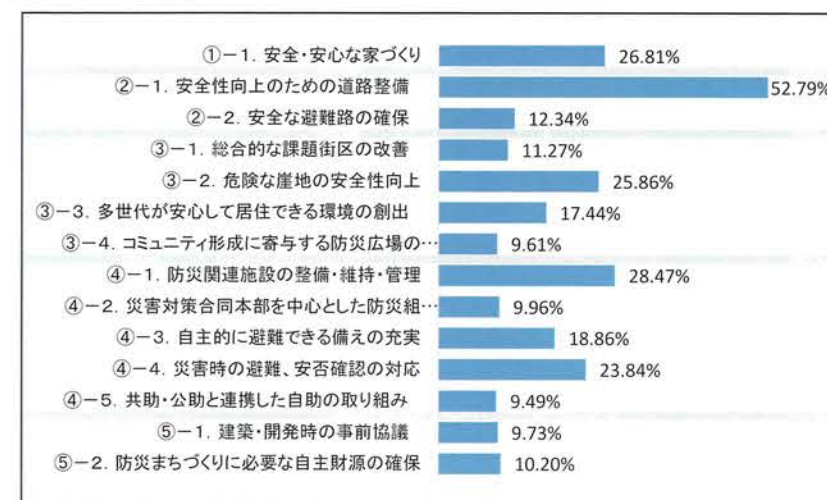
問6 『新防災まちづくり計画（案）』では、5つの柱に対応して14の具体的な計画を掲げていますが、計画項目ごとの賛否をお聞かせください。

- ・「安全性向上のための道路整備」「危険な崖地の安全性向上」「安全な避難路の確保」を「重要」と考える傾向（約60%以上）が強いことがわかる。
- ・「ある程度重要」と合わせると、全ての項目で85%を超えており、14の具体的な計画について重要と認識されている。



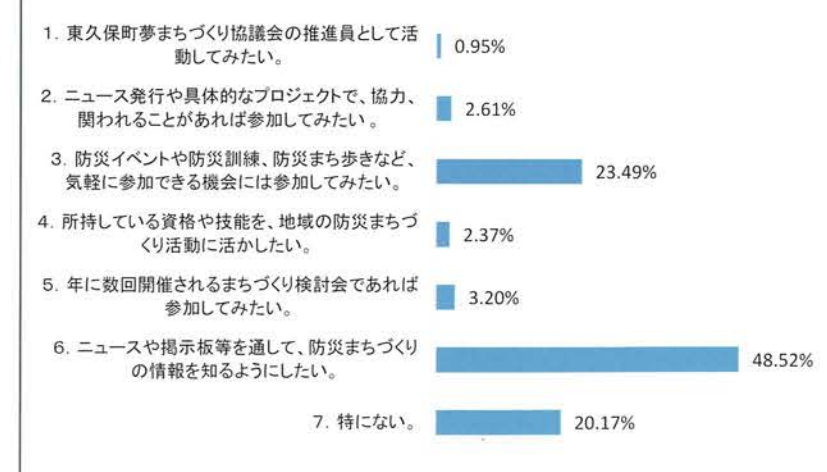
問7 あなたにとって関心の高い計画項目はどれですか。

- ・「安全性向上のための道路整備」への関心が際立って高い。
- ・「防災関連施設の整備・維持・管理」についても、関心の高さが見られ、今まで時間をかけてやってきたことも反映していると考えられる。
- ・「安全・安心な家づくり」も、関心が高くなっている。自分でできる足元をきちんとしないといけないという認識が関心の高さに現れているのかもしれない。



問8 今後も、新しい計画の実現をめざし、防災まちづくりに取り組んでいきますが、参加、協力いただけますか。

- ・「ニュースや掲示板等を通して、防災まちづくりの情報を知りたい」と回答した人が48.5%と多く、活動の入口となる広報活動が重要と考えられる。
- ・次いで「防災イベントや防災訓練、防災まち歩きなど、気軽に参加できる機会には参加してみたい」(23.5%)という人も多く、これらの活動を積み重ねていくことが重要と考えられる。



【記述欄にいただいたご意見の件数と今後の対応について】

意見の総数：210件（問3：19件 問4：58件 問5：12件 問6：15件 問8：30件 問9：76件）

今後の対応	主な意見の内容
① 協議会で検討すること	個別の場所の改善、地域への情報周知に関する提案、若い世代の参加の仕組み、協議会の活動資金に対する提案、活動の優先順位付け、技術的な協力の申し出
② 市・区に検討してもらうこと	空き家の指導、狭い道路の拡幅を進める仕組み、歩道の整備、燃えにくい建物を普及させる仕組み、交通手段の充実
③ 町内会で検討すること	街灯の整備、ごみ出しルールの徹底、高齢者のごみ出し支援、会館の建て替え、防犯パトロール
④ 留意すべきこと	アンケートの作り方について、協議会役員への謝意、個別の意見、感想
⑤ 計画に反映すること	計画の進め方、活動資金について、避難経路(私道)の整備、門灯・玄関灯の点灯推奨、電柱の地中化、空き地の対策、計画のわかりやすさ（図・写真）

【新防災まちづくり計画(案)への反映について】

反映前	反映後
(新規、冒頭のまえがき、理念の後ろに項目を立てて記述)	防災まちづくりの実現に向けて ・役割分担（住民、企業、行政）をしながら、皆で協力してまちづくりに取り組みます。 ・実現性の高いもの、優先度の高いものを、各町内及び協議会で話し合い、具体的な整備に取り組んでいきます。 ・国の補助事業や横浜市地域まちづくり推進条例などを活用し整備を実現させていきます。また、夢やさいの販売で得た基金を有効に活用していきます。
2-1. 安全性向上のための道路整備 方策 ・主要区画道路、区画道路については、セットバック部分の緑石後退や電柱移設を働きかけると共に、舗装改善、段差解消、手すり設置等の安全対策に力を入れた整備を図ります。 ・災害時の安全性向上のため、電柱の民間敷地への移設、避難看板・誘導灯の設置、ブロック塀の改善などを図ります。 ・地区幹線道路、主要防災道路については、骨格的な道路網の形成を目指し、長期的な視点で行政や関係機関、地権者に要望します。	2-1. 安全性向上のための道路整備 方策 ・優先整備路線、まちの避難経路については、セットバック部分の緑石後退や電柱移設を働きかけると共に、舗装改善、段差解消、手すり設置等の安全対策に力を入れた整備を図ります。 ・災害時の安全性向上のため、電柱の民間敷地への移設、避難看板・誘導灯（門灯、玄関灯も含む）の設置、ブロック塀の改善などを図ります。 ・骨格的防災道路については、骨格的な道路網の形成を目指し、長期的な視点で行政や関係機関などに 拡幅や電柱地中化 を要望します。
2-2. 安全な避難路の確保 方策 ・危険解消を図るため、電柱の民間敷地への移設や隅切り設置、避難看板・誘導灯の設置などを推進します。	2-2. 安全な避難路の確保 方策 ・危険解消を図るため、電柱の民間敷地への移設や隅切り設置、避難看板・誘導灯（門灯、玄関灯も含む）の設置などを推進します。
3-3. 多世代が安心して居住できる環境の創出 将来像（目標） 空き家やごみ置き場といった地域課題が解決し、子供からお年寄りまで多様な世代の人たちが安心して快適に住み続けることができている。地域の皆さんが、元気に明るく、楽しく住み続けられる、誰にでも優しいまちになっています。 方策 (新規)	3-3. 多世代が安心して居住できる環境の創出 将来像（目標） 空き家や 空き地 、ごみ置き場といった地域課題が解決し、子供からお年寄りまで多様な世代の人たちが安心して快適に住み続けることができている。地域の皆さんが、元気に明るく、楽しく住み続けられる、誰にでも優しいまちになっています。 方策 ・管理不全な空き家、空き地の所有者、管理者に対して 手紙等で改善を促します。
4-1. 防災関連施設の整備・維持・管理 方策 ・整備した防災施設について、定期的に維持管理を行います。	4-1. 防災関連施設の整備・維持・管理 方策 ・3町内に 防災施設をバランスよく整備し、整備後は定期的に維持管理 を行います。

防災広場の活用術！！



小さいながらも東久保町緑地に隣接した個所に防災広場があります。災害時の活用方法、訓練やイベント、資機材・備蓄品は、等のポイントを災害対策本部に説明して頂きました。

防災広場は夢まちづくり協議会発足時から災害対策で使える広場を探索していたところ、市土木の管理する緑地の一部を借りる形で設備したものです。隣接して消防団の車庫が建っています。

1. 活用方法は

各町内会の規模での事前訓練の会場として使っていただきたいと思います。災害時には多くの方が留まるスペースはありません。物資の配布場所等を想定しています。

2. 訓練やイベントの実施は

これまで防災イベントでご覧いただき、東台会・東睦会では的を絞った訓練を実施しました。ひきつづき各町内で工夫をこらしていろいろなイベントに利用していただきたいと思います。

3. 防災資材、機材、備蓄品

広場内にある防災庫には毎年飲料水を購入し備蓄しております。広場には防災時に保管してある仮設トイレを使用できる下水配管がされています。鉄管で製作したかまどやU字溝を利用するかまどを利用して火おこし訓練ができます。発電機や投光器、鍋、鉄板などを設置し今後も拡充していく予定です。



組み立てトイレ



広域避難場所入口看板に太陽光充電式照明器具を取付

久保山墓地は、広域避難場所（大規模火災時の避難場所）に指定されその入口は、東久保町からは3か所ありますが、狭隘道路のため分りにくく、以前に協議会で、入口に案内表示板をつけました。

しかし「夜間に停電が重なった場合は、分らない！」とのご意見があり、昨年度長蓄光式のテープを試みましたが、明示機能としては弱いため、今回充電式LED型の照明を付けました。これは人感式のため常時は点灯しませんが、夜間に人が近づくと点灯し、はっきりと確認できます。近くに寄った時は、試して下さい。



横浜市からのお知らせ

横浜市役所は、令和2年4月中旬から6月末にかけて順次移転し、新市庁舎での業務を開始します。全体オープンは、令和2年6月29日（月）を予定しています。

都市整備局は、令和2年4月13日（月）に移転し、新市庁舎での業務を開始します。

【住所】

〒231-0005

横浜市中区本町6丁目50番地の10

【アクセス】

みなとみらい線 馬車道駅直結

JR・市営地下鉄 桜木町駅から徒歩3分

【問合せ】都市整備局 防災まちづくり推進課

TEL045-671-3664 FAX045-663-5225



横浜国立大学 都市計画研究室からアンケート調査依頼がありました。

令和2年1月「地域主体による低未利用地の管理・利活用に関するアンケート調査」のお願いがありました。当、まちづくり協議会も「横浜地域まちづくり推進条例」を活用した組織として活動していることから、これまでの経験を通じた工夫と課題等の回答を求められました。

活動実績をもとに回答し、改善して欲しい点や課題等を追記しました。 (志鳥)

1. 改善して欲しい点

- 空き家対策として長期の空き家は、空き地と同様な課税扱いにするよう税制を見直して欲しい。
- 減免されている公道に準じた私道は、公道と同様な助成制度の扱いに改正して欲しい。

2. 一番の課題は

- 防災指定地域の改善事業は、強制力と資金が必要です。お願いと協力依頼だけでは難しい。

『夢やさい』の販売

ご協力ありがとうございます。

売り上げの利益金は、防災まちづくりの事業基金として役立てています。

令和元年末までの売上益は67,289円。定例は第3日曜日で次回は3月の予定です。

来年度の販売予定は、4月、9月、10月、11月、12月、3月の6回です。

【編集委員】和田会長・杉山・志鳥・稲田・橋本

【問い合わせ先】☆東久保町夢まちづくり協議会

〒220-0062 横浜市西区東久保町29-11 (会館) ☎ 045-241-7150 (和田)